

サウジのマンガプロダクションズ、監督に静野孔文氏を起用しシネマ用アニメ制作をスタート

東映アニメーションとのコラボ第二弾

マンガプロダクションズ(サウジアラビア・リヤド市)と東映アニメーション株式会社(東京)は、『名探偵コナン』『ゴジラ怪獣惑星』などを手がける静野孔文(シズノ・コウブン)監督と『ポケモン』シリーズ『イナズマイレブン』シリーズの脚本家、富岡淳広(トミオカ・アツヒロ)をスタッフに迎え、サウジと日本のコラボ・アニメ映画の制作をスタートしました。



この映画制作は、昨年11月リヤドで開催された「ミスク・グローバル・フォーラム」でマンガプロダクションズと東映アニメーションが今後いくつかのアニメ作品を共同制作していく提携を結んだことから始まりました。すでにサウジの民話『キコリと宝物』は完成し、アラブ世界と日本での放映を待っています。今回スタートした映画制作は、両社のコラボ第二弾となります。現在、日本・サウジのチームが構想を練っている最中でストーリーが具体化した後サウジでロケーションを行う予定です。

映画制作について、監督ならびに脚本家からコメントを頂いています。

■静野孔文監督は「現在、マンガプロダクションズと東映アニメーションで映画を鋭意制作中です。今まで自分が作り上げてきた映画とは一線を画す映像表現、シナリオ構成、音楽の構成となるように、皆様に驚いてもらえるようにがんばっております。」と述べました。

■シナリオを担当の富岡氏は「現在、静野監督と新しい映像表現や物語表現などにチャレンジしているところです。皆様、完成を楽しみに待っていてください。必ず面白い物語を届けます。」と述べました。

■マンガプロダクションズ CEO のブカーリ・イサムは「今回のプロジェクトで静野孔文氏・富岡淳広氏と一緒に作品を作ることを大変うれしく思います。サウジでは、現地のアーティストとも会って頂きます。日本・サウジ間の史上初めてのアニメ映画になるこの作品を大いに期待しています。サウジのクリエイターは、日本の映画スタッフと仕事を進めることでアニメの制作過程や技術を学んでいきたいと思っています。」と語りました。



今回のアニメは、100 分の劇場用アニメ映画で、新しく出来るサウジの映画館で上映予定です。

ニュース発信元： マンガプロダクションズ

URL： <http://manga.com.sa/>

ツイッター： https://twitter.com/manga_prd

リリースについてのお問い合わせ先：

yamazumi.yuko@manga.com.sa 山隅 悠子 まで